



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 浜井産業株式会社

コード番号 6131 URL <http://www.hamai.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 武藤 公明

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長

(氏名) 山畑 喜義

TEL 03-3491-0131

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	2,572	△44.9	△100	—	△157	—	△80	—
23年3月期第2四半期	4,663	269.2	520	—	500	—	248	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△2.48	—
23年3月期第2四半期	7.64	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	8,993	—	3,094	—	—	34.4
23年3月期	9,194	—	3,286	—	—	35.7

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 3,094百万円 23年3月期 3,286百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
23年3月期	—	0.00	—	2.50	円 銭	2.50
24年3月期	—	0.00	—	—	円 銭	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	円 銭	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)24年3月期の期末配当予想は、未定とさせていただきます。

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	6,000	△26.8	160	△77.3	80	△87.8	40	△90.7	円 銭 1.23

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	32,624,000 株	23年3月期	32,624,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	171,549 株	23年3月期	170,844 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	32,452,343 株	23年3月期2Q	32,498,656 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 24年3月期の期末配当予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。
今後の業績動向などを勘案し、配当予想額の開示が可能となり次第、速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
【第2四半期累計期間】	
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	1 1
(5) 追加情報	1 1
(6) セグメント情報等	1 1
(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	1 1

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、3月に発生した東日本大震災により、経済活動に大きな影響がもたらされることとなりました。

最近になってようやく、サプライチェーンの回復により、一部に生産活動の持ち直しも見られましたが、欧米の財政悪化に伴う円高の進行や株安など、製造業にとっては、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような環境下、当社は、情報通信分野の主に電子・電機関連業界に積極的に販売活動を展開し、受注増に注力するとともに、生産性の向上やコスト削減に努めてまいりました。

しかしながら、当第2四半期累計期間の経営成績につきましては、売上高は2,572百万円(前年同四半期比44.9%減)、営業損失は100百万円(前年同四半期は営業利益520百万円)、経常損失は157百万円(前年同四半期は経常利益500百万円)、四半期純損失は80百万円(前年同四半期は四半期純利益248百万円)となりました。

なお、セグメント別では、当社は、1工場、工作機械の製造を行い、販売するという単一事業を展開しております。

そこで、セグメント別の「工作機械事業」としては、上記のとおりですが、以下「機種別」に市場動向、販売状況等を補足させていただきます。

①ラップ盤

デジタル家電向各種ガラス基板加工用の設備投資につきましては、市場の需要が弱いことから新規設備投資に向けた動きは鈍く、一方、半導体シリコンウエーハ加工用やLED用サファイア基板加工用の設備機の売上は増加したものの、売上高は1,148百万円(前年同四半期比67.0%減)に留まりました。

②ホブ盤、フライス盤、レンズ加工機

東アジアで、小型・中型モーター、釣具そして自動車部品等の各分野向にホブ盤の売上が増加し、フライス盤、レンズ加工機の売上も堅調に推移しました。

また、期後半では、中国の金融引き締め等の影響を受けたものの、売上高は576百万円(前年同四半期比38.4%増)となりました。

③CMP・CMG

半導体需要の緩やかな回復の中、半導体メーカーの設備投資は慎重ながら動き出し、売上高は79百万円(前年同四半期比1.9%増)となりました。

④部品、歯車

有力顧客の機械稼働率は高水準で推移しており、消耗部品等の販売も順調に推移し、売上高は768百万円(前年同四半期比12.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①財政状態の分析

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は4,974百万円で、前事業年度末に比べ109百万円減少しております。受取手形及び売掛金の売上債権の減少122百万円が主な要因であります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は4,018百万円で、前事業年度末に比べ91百万円減少しております。有形固定資産の減少64百万円、市場価格の下落による投資有価証券の減少51百万円が主な要因であります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は2,504百万円で、前事業年度末に比べ1,591百万円減少しております。1年内返済予定の長期借入金の減少940百万円、支払手形及び買掛金の仕入債務の減少260百万円が主な要因であります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は3,393百万円で、前事業年度末に比べ1,581百万円増加しております。長期借入金の増加1,415百万円が主な要因であります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は3,094百万円で、前事業年度末に比べ191百万円減少しております。主に剰余金の配当により利益剰余金が161百万円減少しております。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ13百万円増加し、当第2四半期会計期間末には、1,264百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

1) 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間における営業活動の結果支出した資金は549百万円(前年同四半期は244百万円の収入)となりました。

収入の主な内訳は、売上債権の減少額122百万円であり、支出の主な内訳は、仕入債務の減少額260百万円、税引前四半期純損失153百万円であります。

2) 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間における投資活動の結果支出した資金は25百万円(前年同四半期は28百万円の支出)となりました。

これは、主に有形固定資産の取得による支出19百万円によるものであります。

3) 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間における財務活動の結果得られた資金は591百万円(前年同四半期比24,262.1%増)となりました。

これは、主に長期借入金の調達によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

今後の国内の景気の見通しにつきましては、欧米の財政悪化に伴う急激な円高の進行や株安など、依然として経済環境は先行き不透明な状況で推移すると予想されます。

当第2四半期累計期間における業績結果につきましては、当社主要顧客の設備投資計画が、市場の需給状況等からやや実施が遅れていること、また、円高や、中国当局の金融引き締めによって、輸出に影響が生じた結果と見ております。

したがって、業績予想につきましては、平成23年10月31日発表の業績予想に現時点では変更ありません。

当事業年度(平成24年3月期)の業績見通しにつきましては、売上高6,000百万円、営業利益160百万円、経常利益80百万円、当期純利益40百万円を見込んでおります。

本資料に記載されている業績予想見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,250,623	1,264,095
受取手形及び売掛金	1,737,395	1,615,382
商品及び製品	55,707	12,961
仕掛品	1,511,537	1,608,621
原材料及び貯蔵品	108,725	98,607
その他	420,229	374,908
流動資産合計	5,084,218	4,974,576
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	945,902	915,557
土地	2,276,497	2,276,497
その他(純額)	444,389	409,897
有形固定資産合計	3,666,790	3,601,952
無形固定資産	3,036	2,736
投資その他の資産		
投資有価証券	187,524	136,102
その他	266,916	294,334
貸倒引当金	△14,108	△16,496
投資その他の資産合計	440,332	413,940
固定資産合計	4,110,159	4,018,630
資産合計	9,194,378	8,993,207
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,881,211	1,620,560
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	1,215,992	275,558
未払法人税等	142,108	5,504
製品保証引当金	51,970	72,993
その他	604,935	330,174
流動負債合計	4,096,217	2,504,790
固定負債		
社債	500,000	700,000
長期借入金	784,680	2,200,136
退職給付引当金	469,234	435,290
資産除去債務	27,562	27,812
その他	30,294	30,294
固定負債合計	1,811,771	3,393,532
負債合計	5,907,988	5,898,323

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,050,186	2,050,186
利益剰余金	1,211,878	1,050,015
自己株式	△27,283	△27,234
株主資本合計	3,234,780	3,072,966
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	54,991	24,017
繰延ヘッジ損益	△3,382	△2,100
評価・換算差額等合計	51,608	21,917
純資産合計	3,286,389	3,094,883
負債純資産合計	9,194,378	8,993,207

(2) 四半期損益計算書
 【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	4,663,876	2,572,021
売上原価	3,710,843	2,256,470
売上総利益	953,033	315,551
販売費及び一般管理費		
販売手数料	25,100	42,445
荷造運搬費	77,651	37,214
役員報酬	55,414	58,751
従業員給料	67,851	74,873
従業員賞与	28,472	11,967
退職給付費用	7,813	8,671
その他	169,799	182,334
販売費及び一般管理費合計	432,103	416,258
営業利益又は営業損失(△)	520,929	△100,706
営業外収益		
受取利息	107	120
受取配当金	1,038	1,851
不動産賃貸料	2,751	2,424
物品売却益	2,867	1,181
未払配当金除斥益	2,058	—
その他	10,964	5,390
営業外収益合計	19,787	10,967
営業外費用		
支払利息	25,094	26,465
社債発行費	—	2,969
支払手数料	6,410	28,962
その他	8,835	8,970
営業外費用合計	40,340	67,368
経常利益又は経常損失(△)	500,376	△157,107
特別利益		
固定資産売却益	—	6,746
貸倒引当金戻入額	12	—
特別利益合計	12	6,746
特別損失		
固定資産除却損	1,259	4
投資有価証券評価損	33,885	433
会員権評価損	—	2,400
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	13,684	—
特別損失合計	48,829	2,838
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	451,559	△153,199

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
法人税、住民税及び事業税	50,150	3,047
法人税等調整額	153,189	△75,669
法人税等合計	203,339	△72,622
四半期純利益又は四半期純損失(△)	248,219	△80,577

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	451,559	△153,199
減価償却費	78,542	81,040
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△228	2,388
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	23,433	21,023
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△13,159	△33,944
受取利息及び受取配当金	△1,145	△1,971
支払利息	25,094	26,465
社債発行費	—	2,969
為替差損益 (△は益)	3,766	4,165
支払手数料	6,410	28,962
固定資産売却損益 (△は益)	—	△6,746
固定資産除却損	1,259	4
投資有価証券評価損益 (△は益)	33,885	433
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	13,684	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,949,499	122,013
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△905,903	△44,524
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,472,168	△260,651
その他	6,147	△148,869
小計	246,016	△360,440
利息及び配当金の受取額	1,145	1,971
利息の支払額	△24,997	△25,859
法人税等の支払額	△3,535	△133,287
法人税等の還付額	32,408	—
その他の支出	△6,461	△31,630
営業活動によるキャッシュ・フロー	244,574	△549,246
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△15,789	△19,332
有形固定資産の売却による収入	—	7,840
投資有価証券の取得による支出	△478	△498
短期貸付金の回収による収入	600	390
その他	△12,395	△13,456
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,064	△25,057
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,690,000	1,850,000
長期借入金の返済による支出	△1,682,998	△1,374,978
社債の発行による収入	—	197,031
配当金の支払額	△76	△80,021
その他	△4,495	△103
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,429	591,927

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,749	△4,150
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	215,190	13,472
現金及び現金同等物の期首残高	955,845	1,250,623
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,171,035	1,264,095

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 追加情報

当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(6) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

- ①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報
 当社は、単一セグメントのため、記載を省略しております。
- ②報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)
 当社は、単一セグメントのため、記載を省略しております。
- ③報告セグメントの変更等に関する事項
 該当事項はありません。
- ④報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

- ①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報
 当社は、単一セグメントのため、記載を省略しております。
- ②報告セグメントごとの資産に関する情報
 該当事項はありません。
- ③報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)
 当社は、単一セグメントのため、記載を省略しております。
- ④報告セグメントの変更等に関する事項
 該当事項はありません。
- ⑤報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。